

(様式2(1))

事業所名 グループホーム希の丘

作成日:令和5年 11月 8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-3	議事録に、生活状況、サービスとの触れ合い等事業所の雰囲気や伝わるようなコメントや、意見の検討経緯を丁寧に記載するなど工夫が必要。	運営推進会議を活用し、施設の運営や利用者の生活の改善に活かす。	・議事録の様式を改善する ・運営推進会議で出された意見を施設運営会議で反映する	3ヶ月
2	2-2	ふれあいまちづくり協議会では行事再開の動きがあるようです。面会の制限緩和後の地域との交流について、検討していく段階に入っている。	感染症対策をはかりながら、利用者と地域のつながりを再構築する。 利用者が家族や地域住民と交流でき、社会の一員として生活することができる。	・ボランティア活動の再開 ・感染症対策をはかりながら、家族の行事参加の再開を検討する	12ヶ月
3	49-22	コロナ収束の目途が立たない状況であり、保健所の指導は以前として変化がない状況ではあるが、家族からの外出制限緩和の希望や面会の制限の解除を求める要望がある。今後も日々近隣の公園への散歩の継続、入居者の生活を第一に考えた外出支援のあり方の構築が課題。	利用者と家族と一緒に過ごす時間が、日常的にあり、感染症対策をはかりながらも外出ができる。	・面会の制限を段階的に解除できるように検討する ・特別な場合(冠婚葬祭、記念日)などはなるべく外出できるように、状況に応じた対応をはかる	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。